

2016年12月12日(月)

外国人ランナー支援アプリ「nakama.plus」(ナカマプラス)のお知らせ

「第5回富士山マラソン SUPPORTED BY IMSグループ」(2016年11月27日(日)開催 主催: 日刊スポーツ新聞社 富士河口湖町 山梨陸上競技協会)では、外国人参加者向けの支援アプリ「nakama.plus」を今回の大会で採用したことをお知らせいたします。主要なマラソン大会で訪日外国人の増加が見込まれる中、外国語対応が大会主催者の課題となっていますが、富士山マラソンでは様々な方法で外国人参加者にもストレスの少ない大会づくりを目指しています。

本アプリは、スポーツビジネス企業の株式会社ディライト(東京都千代田区、代表取締役: 案野裕行)、ゲーミフィケーションに強みを持つアプリの開発のMintomo株式会社(東京都大田区、代表取締役: 新井茂成)、東京の大規模マラソン大会でも採用実績のある『指さし会話帳®』を出版する株式会社情報センター出版局(東京都新宿区、代表取締役: 田村隆英)の協力を得て実現した取り組みとなります。

株式会社ディライト代表取締役 案野裕行氏コメント:

今回の大会では、会場までの地図やゼッケン配布場所やスタート・ゴールの場所など地図機能が好評だったようです。今後も、主催者の外国人語対応の課題に貢献すると同時に外国人参加者が思い出に残る体験のサポートをしていきたいと考えています。

Mintomo株式会社 代表取締役 新井茂成氏コメント:

nakama.plusで日本での体験がより楽しいものとなりスポーツイベント・地域が活性化し、訪日外国人が少しでも増えるよう応援します。

■「第5回富士山マラソン」概要

2016年11月27日(日)開催 公式ホームページ <http://fujisan-marathon.com/>

概要: 富士山マラソンは、河口湖、西湖の湖畔を周回するフルマラソン大会で、前身である「河口湖日刊スポーツマラソン」から起算すると本年で41回目を迎える大会で、約12,378人のランナーがエントリーしました。

3年連続で海外からの参加者が倍増しており、今回の大会でも約40ヶ国、約2,000人がエントリーしました。

■nakama.plus(ナカマプラス)の概要

「nakama.plus」は、訪日外国人のサポートを目的としたアプリケーションです。

主な機能

1. 指さし会話帳(英語/簡体/韓国語)
富士山マラソンに特化した内容(地図等)
2. 個別質問対応

運営会社: Mintomo株式会社

公式ホームページ <https://mintomo.co.jp/service/nakamaplus>

■Mintomo株式会社について

「世の中のおもしろくないモノをゲーム関数でおもしろくする」を合言葉に、レトロゲームにおける開発手法・ノウハウを活かし、面白い仕組みや使い易いUIを設計しソリューションとして開発することを得意としています。

このプレスリリースに関するお問い合わせは、下記まで。

(株)ディライト 公式ホームページ <http://delightcorp.com>

広報担当 案野

(TEL 090-3904-5607 Email hanno@delightcorp.com)



※『指さし会話帳®』は、株式会社情報センター出版局の登録商標です。 <http://www.yubisashi.com>

※ その他、文中に記載されている会社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

以上